

平成23年度 第1回通常総会議事録

(第69回通常社員総会)

1. 開催日時 平成23年8月27日 午後5時00分より
1. 場 所 東京都千代田区永田町2-9-8
パレロワイヤル永田町 会議室
1. 正会員数 24名 出席者数 23名 (委任状出席名含む)
議決権総数 202 議決権行使実行数 201

1. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

事務局より、当日出席された小川会員を含め出席会員数及び議決権ともに定款の規定を満たすため本会は有効に成立する旨の説明がなされ、定款第22条の規定により、出席会員の中から久間 章生氏が議長となり、議案の審議に入った。

第1号議案 議事録署名人選人の件

定款第28条により議長は、本会の議事録署名人を議場に諮ったところ、満場一致をもって次の者を選任した。

議事録署名人 杉野 裕章
大柴 哲

第2号議案 平成22年度事業報告の件

事務局より、平成22年度事業報告(別紙添付1)について、説明がなされた、昨年度において当協会理事ツー博士よりの提案で台湾との交流を実施した、馬英九台湾総統を始め台湾野党の党首蔡女史との面談、高華柱国防部長、国務院の有力議員等と面談した。当協会理事であるコロラド州立大学名誉教授ツー博士の来日に際し会合を開催し支援を行った。又、シュナイダー博士の来日に伴いこれも支援した。

又、当協会の名誉な出来事として井上理事が叙勲を受けた旨の報告がありました、当協会の理事からは2年連続叙勲対象者がでたことは大変喜ばしいことでもあります、それらに関する会議・会合を開いた旨の報告もあった、それらの事を含め内容について、慎重に審議した結果満場一致で承認された。

第3号議案 平成22年度収支報告の件

事務局から平成22年度収支報告(別紙添付2)について説明がなされた、会員



が大量に辞めたために縮小した結果のままに会費収入が減りそれに見合わせた活動の結果状況が改善できず今日に至っております。

又、監事より会計報告が適正である旨の報告を受けた。(別紙添付3参照) 来年度より将来を見据えた行動をする為に、社員が総力を挙げて新規会員を集める事とした。議場に諮ったところ慎重に審議した結果報告どおり満場一致で承認された。

第4号議案 事務局の新体制について

新規に事務局の体制を確立し、従来の業務が行えるように事務局内部を整備する事とした、議場に諮ったところ慎重に審議した結果満場一致で承認された。

第5号議案 一般社団法人への移行申請と定款の変更等の件

事務局より従前の総会で決議された商号変更に伴う新商号・国際平和戦略研究所[英文名 Center for International Strategy Studies(略省：CISS)] を今回の一般社団法人移行申請に伴い新商号として届ける事とした。尚、商号変更に伴い活動範囲を従来の日米に限らず多くの同盟国を中心に各種交流を目指す事を目的とした事業活動を目的とする内容に変更する事とした、議場に諮り慎重に審議したところ満場一致で承認された。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後4時30分閉会を宣した。

平成23年8月27日 社団法人 日米平和・文化交流協会

議長

久間 豊生



議事録署名人

杉別 裕章



同上

大柴 哲



社団法人 日米平和・文化交流協会

平成 22 年度事業報告（第 69 回総会）
（平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日）

(1) 知的交流事業（定款第 4 条 第 1 項、2 項）

22 年度の事業として、従来、毎年行っていた安全保障戦略会議の件で各関係者と
思われる方々より次期開催がいつになるか等の問い合わせを多く頂いた。

各理事等と意見交換をしたところ、改めて高い評価をいただいていた事が分かり、
会議再開に向けて会員・役員一同が一致協力をする事とした。

又、理事であるコロラド州立大学名誉教授ツー博士より当協会が主催する会議を一
日も早く開催して欲しいとの要望があった。

又、昨年に続き大変喜ばしい事として、当協会理事である井上喜一先生が旭日大受
章を受けられました。しかしながら井上先生は昨年 12 月 16 日に逝去されました。

昨年度の新事業として台湾との知的交流を深める目的で協会として初訪台を実施
した。台湾においては馬英九総統を始め高国防部長、民進党・党首蔡英文女史、国
務院等有力者との面談をした。この会合も従来 of 安全保障会議の一つとして開催し
ていく事としたい。

(2) 企業交流(定款第 4 条 第 1 項)

本年度は企業交流の一環として米国航空宇宙協会（A I A A）が主催する会議が
京都で行われ久間会長、畠山理事、秋山理事他関係者 2 名計 5 名が参加した。

米国より多くの関係者が来日し久間会長との懇談を会食を共にした。

(3) 文化交流事業（定款第 4 条 第 1 項）

本年度も文化の違いにおいて避けられてきた日米両国の情報保護における文言等
についての問題点（相互理解不足や異なった解釈）を検証するため、その点につい
ての調査を依頼した。又、終戦時マッカーサー将軍来日に際する戦後秘話としての当
協会設立者笠井重冶が係わったボナ・フェラーズ氏の映画製作に関し後援名義を貸
与すこととした。

初代会長笠井重冶の出身校である甲府中学（現高校）創立 100 周年に際し笠井会長
の写真展示を許可しました。学校より素晴らしい盾を寄贈して頂きました。

(4) 初代会長笠井重治文庫の活用（定款第 4 条 第 6 項）

笠井文庫の文献活用等の為、事務所にその貴重な蔵書を保管した結果、各方面より問い合わせが多く、当協会役員である学習院女子大学教授島山氏に対応を一任した。島山先生より蔵書が古いために手入れの必要が多く保存方法を含め協会としての取り扱い対応を検討することとした。

(5) 研究調査業務（定款第 4 条 第 1 項、4 項、5 項）

当協会の事業目的である文化の違いによる問題点や、言葉の表現による解釈の違い等を様々な角度より検証し、昨年度に引き続き情報保護問題等における同意語の解釈の違いについて調査・研究を外部に委託した。

(6) 「日米レポート」の配信（定款第 4 条第 3 項）

従来より発行していた機関誌について新しく編集発行する事で当面休刊する事とした。ただし簡単なレポートは取得次第会員に限定発行する。

(7) 米国情報の配信（定款第 4 条 第 6 項）

質の高い米国情報（ワシントン情報）を役員及び会員各位に提供し、役立てていただいている。昨年度の内容を更に高め研究した結果、貴重な資料として高い評価を得た。

また、その他特別レポートとして、シュナイダー博士、フィッシャー氏等より提供された資料も入手し、限定レポートとして英文のまま会員に配信した。

(8) その他

- a) 米国を始めとし在日米国人や日米の各種団体、企業、個人からの問い合わせ等に適宜対応した。
- b) 当協会の実務処理を兼ねて、各国の元政府高官との事前協議をするための事務局の立場を本協会役員である島山教授の属する大学内においていただく事を件とした。
- c) 当協会の新たな名称、事業計画、財務計画についての具体的提案・策定の件を検討した。尚この件については各役員及び評議委員も交え、所管役所の御指導等を基本に最終決定することとした。

以上

決 算 報 告 書

自 平成 22年 6月 1日
至 平成 23年 5月 31日

社団法人 日米平和・文化交流協会

東京都千代田区永田町2丁目9番8号

社団法人 日米平和・文化交流協会

貸借対照表

平成23年5月31日現在

単位:円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,597,030	276,247	1,320,783
短期貸付金	0	7,450,000	△ 7,450,000
仮払金	0	92,993	△ 92,993
前払費用	50,000	50,000	0
未収入金	0	792,250	△ 792,250
立替金	0	23,750	△ 23,750
流動資産合計	1,647,030	8,685,240	△ 7,038,210
2 固定資産			0
(1)基本財産			0
蔵書	5,000,000	5,000,000	0
(2)減価償却引当資産			0
工具器具備品	943,915	1,100,134	△ 156,219
(3)その他の固定資産			0
電話加入権	38,640	38,640	0
敷金	45,000	45,000	0
その他の固定資産合計	83,640	83,640	0
固定資産合計	6,027,555	6,183,774	△ 156,219
資産合計	7,674,585	14,869,014	△ 7,194,429
II 負債の部			0
1 流動負債			0
短期借入金	20,956,020	26,200,000	△ 5,243,980
未払金	11,240	10,000	1,240
未払費用	3,851,470	4,003,816	△ 152,346
預り金	831,570	831,570	0
流動負債合計	25,650,300	31,045,386	△ 5,395,086
負債合計			0
III 正味財産の部			0
1 一般正味財産	△ 17,975,715	△ 16,176,372	△ 1,799,343
正味財産合計	△ 17,975,715	△ 16,176,372	△ 1,799,343
負債及び正味財産合計	7,674,585	14,869,014	△ 7,194,429

正味財産増減計算書

平成22年6月1日より平成23年5月31日まで

単位:円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常利益			
① 会費収入			
会費	550,000	2,610,000	△ 2,060,000
協力費	0	0	0
寄付金	0	500,000	△ 500,000
② 雑収入	160,024	112,901	47,123
経常収益合計	710,024	3,222,901	△ 2,512,877
(2) 経常費用			0
① 事業費			0
給与手当	0	360,000	△ 360,000
旅費交通費	0	0	0
運賃	3,680	0	3,680
交際接待費	306,300	54,150	252,150
会議費	721,534	1,205,472	△ 483,938
消耗品費	4,115	0	4,115
燃料費	0	0	0
雑費	0	0	0
事業費支出計	1,035,629	1,619,622	△ 583,993
② 管理費			0
給与手当	0	0	0
法定福利費	0	0	0
福利法定費	0	0	0
募集費	0	0	0
旅費交通費	483,921	0	483,921
通信費	129,806	137,336	△ 7,530
印刷製本費	0	0	0
会議費	0	0	0
水道光熱費	0	17,330	△ 17,330
消耗品費	0	31,898	△ 31,898
租税公課	15,001	470	14,531
新聞図書費	18,500	3,700	14,800
支払手数料	22,645	2,625	20,020
支払報酬	0	76,434	△ 76,434
地代家賃	600,000	805,800	△ 205,800
事務用消耗品費	1,835	32,005	△ 30,170
保険料	0	3,110	△ 3,110
減価償却費	156,219	182,073	△ 25,854
敷金償却	0	196,000	△ 196,000
雑費	45,811	11,020	34,791
管理費支出計	1,473,738	1,499,801	△ 26,063
経常費用合計	2,509,367	3,119,423	△ 610,056
当期一般正味財産増減額	△ 1,799,343	103,478	△ 1,902,821
一般正味財産期首残高	△ 16,176,372	△ 16,279,850	103,478
一般正味財産期末残高	△ 17,975,715	△ 16,176,372	△ 1,799,343

財産目録

平成23年5月31日現在

単位:円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 手許現金高	1,521,739	
普通預金(三菱東京UFJ No.7585821)	38,355	
普通預金(三菱東京UFJ No.4564767)	36,936	
流動資産合計		1,597,030
前払費用		
地代家賃6月分		50,000
流動資産合計		1,647,030
2 固定資産		
(1)基本財産		
蔵書		5,000,000
(2)その他固定資産		
工具器具備品		
会議用テーブル等	943,915	
電話加入権	38,640	
敷金	45,000	1,027,555
固定資産合計		6,027,555
資産合計		7,674,585
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
(株)海外資材研究所(鏑木兼義氏)	18,750,000	
カード借入金	1,407,593	
久間章生氏	798,427	20,956,020
未払金		11,240
未払費用		
旅費交通費(GW訪米関連経費)		3,851,470
預り金		
源泉税、社会保険料		831,570
流動負債合計		25,650,300
負債合計		25,650,300
負債及び正味財産合計		△ 17,975,715

社団法人 日米平和・文化交流協会

財務諸表に対する注記

平成22年6月1日から平成23年5月31日まで

1.重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 工具・器具・備品…定率法による減価償却を行い直接法で処理している。
- (2) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は、税込処理によっている。
- (3) 蔵書
 蔵書については減価しないため減価償却費を計上していない。

2.基本財産の増減額及びその残高

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
蔵書	5,000,000	0	0	5,000,000

3.固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価格	減価償却 累計額	当期末残高
工具・器具・備品	2,030,000	1,086,085	943,915
合計	2,030,000	1,086,085	943,915

収支計算書

平成22年6月1日より平成23年5月31日まで

単位:円

科目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 会費収入			
会費	2,700,000	550,000	2,150,000
助成金	0	0	0
寄付金	300,000	0	300,000
② 雑収入	0	160,024	△ 160,024
事業活動収入合計	3,000,000	710,024	2,289,976
2 事業活動支出			0
① 知的交流事業費支出			0
給与手当	0	0	0
旅費交通費	100,000	0	100,000
通信費	350,000	0	350,000
会場設営費	0	0	0
交際接待費	0	306,300	△ 306,300
会議費	500,000	721,534	△ 221,534
消耗品費	300,000	4,115	295,885
寄付金	0	0	0
諸謝金	0	0	0
雑費	100,000	45,811	54,189
② 管理費支出	1,350,000	1,077,760	272,240
給与手当	0	0	0
旅費交通費	50,000	0	50,000
通信費	100,000	0	100,000
会議費	100,000	214,476	△ 114,476
水道光熱費	100,000	0	100,000
租税公課	0	0	0
新聞図書費	0	0	0
支払手数料	80,000	73,562	6,438
業務委託費	100,000	0	100,000
支払報酬	50,000	0	50,000
賃借料	600,000	27,443	572,557
事務用消耗品費	0	315,481	△ 315,481
消耗品費	0	0	0
保険料	0	0	0
雑費	0	0	0
事業活動支出合計	1,180,000	630,962	549,038
事業活動収支差額	2,530,000	1,708,722	821,278
	470,000	△ 998,698	1,468,698

収支計算書に対する注記

平成22年6月1日から平成23年5月31日まで

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現預金、立替金、未収入金、仮払金、前払費用、未払金、未払費用及び預り金を含めている。

2. 次期繰越収支差額の内訳は、次の通りである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	96,397	1,521,739
普通預金	179,850	75,291
立替金	23,750	0
未収入金	792,250	0
仮払金	92,993	0
前払費用	50,000	50,000
合 計	1,235,240	1,647,030
未払金	10,000	11,240
未払費用	4,003,816	3,851,470
預り金	831,570	831,570
合 計	4,845,386	4,694,280
次期収支差額	△ 3,610,146	△ 3,047,250



添付資料³4

監 査 報 告 書

社団法人 日米平和・文化交流協会
会 長 久 間 章 生 殿

平成23年8月19日

監 事 浅 田 拓

浅田拓 

私は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」に基づき、社団法人日米平和・文化交流協会の平成22年6月1日から平成23年5月31日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、財産目録について会計監査を実施した。

この監査にあたり私は、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべく会計監査手続を実施した。

監査の結果、私の意見は以下の通りである。

- 1、貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、財産目録は法令及び定款意に従い、当法人の財産及び収支の状況を適正に示している物と認める。
- 2、理事の職務遂行に関しては、不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。